

第8次 笠岡市 総合計画

8th
Kasaoka City General Plan

令和8年度  令和15年度
(2026年度～2033年度)

「対話」と「協調」と「連携」で築く
夢と笑顔が広がるまちづくり



岡山県笠岡市

KASAOKA

はじめに

現在、我が国は人口減少と少子高齢化という大きな波の中にあり、本市においても「消滅可能性自治体」と指摘されるなど、楽観を許さない状況にあります。また、公共施設の老朽化や厳しい財政状況など、解決すべき課題は山積しております。

しかしながら、私たちはこの現実から目を背けることなく、未来に責任を持てる行動を選択しなければなりません。本計画は、こうした時代の転換期において、持続可能な行財政運営基盤を確立し、次世代へ豊かな笠岡を引き継ぐための道標となるものです。

行政の使命とは、単なる利益の追求ではなく、市民ひとりひとりの「幸せの追求」にほかなりません。就任当初より申し上げてまいりました「笠岡に暮らす私たち市民が笠岡に愛着を持ち、笠岡に暮らしてよかったと思えるまち」の実現こそが、私の変わらぬ信念であり、本計画の根底を流れる理念であります。

本計画では、“「暮らしを支える」「まちを整える」「子どもを守り人を育む」”の3つの基本理念を掲げ、施策をより具体的かつ強力で推進してまいります。一方で、行政だけで解決できる課題には限りがあるのも事実です。

そこで重要となるのが、本市で暮らし、働き、活動する皆様と丁寧に会話を重ねる「対話」、互いの立場や考え方を尊重しながらよりよく共生する方法を探す「協調」、そして市民・企業・団体など本市に関係するすべての人々が力を合わせて取り組む「連携」です。

これらにより、市民の皆様、議会、関係機関、そして職員が互いに信頼関係を築き、知恵を出し合い、手を携えていくことこそが、困難を乗り越える最大の力となります。

まちづくりの主演は、ここに暮らす市民です。

笠岡市の未来のために、まずは安心して暮らせる環境づくりです。そしてまちの価値を高め、夢と笑顔が広がる魅力あるまちづくりの実現に向けて、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご協議いただきました総合計画審議会委員並びに市議会総合計画特別委員会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民の皆様方に、心から厚く感謝申し上げます。



笠岡市長
栗尾典子

令和8年4月

目次

第1章 総論

- 1 総合計画について 2
- 2 笠岡市の概要 5

第2章 基本構想

- 1 将来ビジョン 10
- 2 将来ビジョンに向けた基本理念 11
- 3 施策目標 12

第3章 基本計画

- 1 暮らしを支える 24
- 2 まちを整える 42
- 3 こどもを守り人を育む 58
- 4 行政経営 74

第4章 人口フレーム

- 1 人口の動向 84
- 2 笠岡市の将来推計人口 86
- 3 総合計画・総合戦略の実施を踏まえた人口推計 87
- 4 将来の人口フレーム 88

第5章 総合戦略(第3期)

- 1 策定趣旨 90
- 2 現状と課題 91
- 3 対策の基本方針 93
- 4 実施施策 96

第6章 資料編

- 1 持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標 106
- 2 第8次笠岡市総合計画策定経過 107
- 3 笠岡市総合計画審議会委員 108